

二〇一〇年東京五輪・パラリピックに向け、都内でも飲食店の禁煙化が進む。そんな中、飲み歩き好きのがん研究者が屋内完全禁煙の店を応援しようと、「煙らない」おいしい店を検索できるサイトを立ち上げた。名付けて「ケムラン(Quemlin)」。掲載店を探す中で見えてきたのは、店側の深刻な悩みだったという。

## がん研究者

### 検索サイト開設

クラフトビールが楽しめる文京区千駄木の「ピアバブイシイ」。アイリッシュ音楽が流れ、おしゃれなカウンターやテーブル席が並ぶ店内は、一三年の開店時から完全禁煙だ。

九月中旬、ケムランを開設したがん研究者の伊藤ゆりさん(右)こと、運営委員の安藤絵美子さん(左)が店を取材に訪れた。「なぜ禁煙に?」「客層は?」。伊藤さんらの質問に、「喫煙できる」と、店が喫煙者中心になってしまつた店主の石井寛之さん(右)。「禁煙と知ると二十人に一人くらいは帰るけど、吸わない人の方がお酒の味を楽しんでくれて、売り上げが増える実感がある」と話した。

聞き取り後、店内でビールや肉料理を味わい、利用者にインタビュー。夫と一歳の長男の三人で毎週来るという区内の女性(左)は「たばこが苦手な子どももいるので、外食のときは禁煙店を探す」と話した。

ケムランは現在、全国に約百人の特派員がいて、「人に紹介したい」「応援したい」と思った店を紹介している。アポイントなしで来店し、実際の禁煙状況を確認。掲載は店の了承を得るが、紹介料などは受け取らない。ボランティアのため飲食費も自腹だ。

Quemlin 完全禁煙のお店

# ケムランはおいしい

屋内完全禁煙の美味しい飲食店を応援する登録サイト

100%禁煙のお店を探す

0100 - 425 425

検索

ジャンルを絞り込んでください(複数選択可)

飲食	洋食	中華料理	創作料理
イタリアン	フレンチ	アジア・エスニック	レストラン
カフェ	居酒屋	バー	カレー
焼肉	焼	ラーメン	スイーツ



ケムランに登録できる店舗の条件

- 屋内完全禁煙(テラス席や屋外の喫煙スペースはOK)
- 加熱式・電子たばこも不可
- 掲載の了承を得ている

◀「ピアバブ イシイ」店主の石井寛之さん(右奥)から店内禁煙について話を聞く伊藤ゆりさん(左から2人目)ら  
▶取材を終えビールなどを楽しむ伊藤さん



▲「ケムラン」のトップページ。地域と飲食店のジャンルで検索できる  
▶店内を完全禁煙にしている「ピアバブ イシイ」= いずれも文京区で



禁煙化を検討する店に参考にしてもらおうと、東京や大阪を中心にバーや立ち飲み屋、純喫茶など約四百三十店を載せている。店内は禁煙でも、テラス席など屋外で喫煙できれば、それも記載する。伊藤さんは「吸う人と吸わない人が一緒に食事できるように、選べた方がいい」と話す。ちなみに「Quemlin」は伊藤さんが「フランス語っぽくした」造語とか。

### 受動喫煙に悩んだ店長も

伊藤さんの「本業」は、大阪医科大学研究支援センター 医療統計室長だ。留学先のロンドンで世界の禁煙化の流れを実感。来日した海外のがん研究者と食事する際に禁煙店が見つからず苦労した経験などから、一五年にフェイブックで禁煙の店の紹介を始めたところ反響が大きく、昨年五月にケムランのサイトを作った。

取材は自身の研究にも生かし、禁煙店の割合とその地域でのがん死亡率に関連があるかなどを調べている。気になるのが「飲食店従業員の受動喫煙被害」だ。医者から店をやめるか禁煙化するかを迫られた中華料理店や、マスターのせき止まらなくなったシガーバーなど、禁煙に踏み切る理由が受動喫煙による体調悪化という店は多い。

ケムランの理念は「全ての職場を禁煙に」。今年七月には国会で、飲食店などでの受動喫煙対策を強化する改正健康増進法が成立したが、一定条件に当てはまる小規模の既存店は喫煙可とされた。伊藤さんは「狭い店ほど客同士や店員の距離が近く、煙にさらされる濃度も高い。本来は全面禁煙にすべき」と主張する。

「働く人は毎日、何時間も店を過ごす。禁煙化を後押し、ケムランがいない社会にしたい」

ケムランは文京区社会福祉協議会の助成を受け、区内の禁煙店を年内にも特集する。併せて、特派員養成講座を二十三日と十一月一日のいずれも午後七時から区内で開き、取材や写真撮影のポイントを教える。だれでも参加できる。詳細はケムランのサイト(同名で検索)へ。

文・中村真暁/写真・中西祥子/紙面構成・市川千晴

fax 03-3595-6920 email t-hatsu@tokyo-np.co.jp

